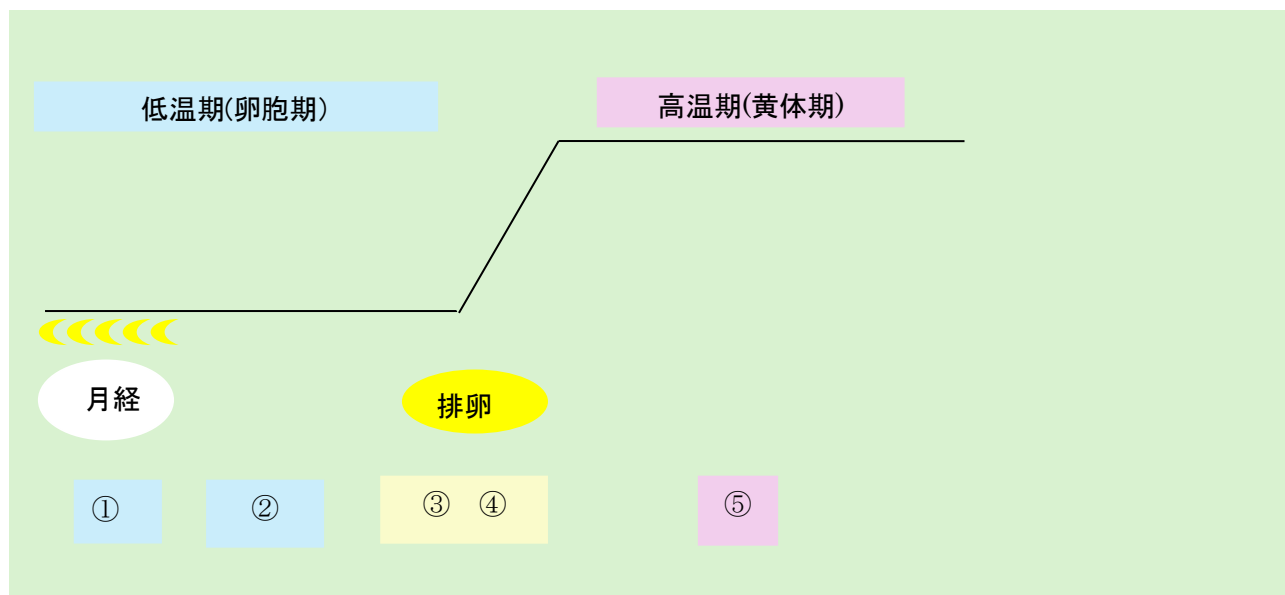


不妊症検査



- ① ホルモン検査 月経3日目前後
下垂体から分泌される LH,FSH,PRL,卵巣から分泌されるエストロゲン, 卵巣や副腎から分泌されるテストステロンなどを調べます。また必要に応じて、負荷検査(LH-RH,TRH test)を行います。
- ② 子宮卵管造影検査 月経終了後
X線透視下に子宮内へ造影剤を注入し、子宮の内腔の形態、卵管の疎通性を調べます。
- ③ 超音波検査 月経終了後より排卵前まで
排卵日を予想するため卵胞の大きさを調べます。排卵まで1周期あたり2,3回必要になることもあります。
- ④ ヒューナー検査 排卵の頃
性交後12時間以内に来院していただき、子宮頸管から粘液を採取して顕微鏡で精子の数や動きを調べます。
- ⑤ 黄体ホルモン検査 排卵後7日目あたり
排卵後、卵巣に形成される黄体から分泌されるプロゲステロンを調べます。
同時にクラミジア感染の既往を調べる抗体の検査、甲状腺機能などの検査を行います。
- ⑥ その他の検査(自費) 月経周期いつでも可。
感染症(梅毒)、抗精子抗体、必要に応じて風疹、麻疹、水痘、ムンプスなどの抗体を調べます。
- ⑦ 精液検査

※検査が終了した時点で、今後の治療計画を説明させていただきますので、ご夫婦で来院して下さい。
人工授精を計画する際は必ず必要となります。